

植物としての特徴

●キリの原産地・分布

キリはもともと、アジア大陸東部の原産であり、わが国には自生せず有史以前に渡来したというのが、おおかたの植物学者の通説である。現在わが国で植栽されている品種は、ニホンギリ、チョウセンギリ、ラクダギリ、ウスバギリの4品種と考え



倉庫脇のキリの木(福島県三島町)

られる。

これらは、花の内側の紋様、あるいは樹形、樹皮などから識別ができる。このなかで広く見られるのはニホンギリ、チョウセンギリ、ラクダギリである。

一方、キリの原産地である中国には、北緯20°の海南島から40°の遼寧省まで分布があり、品種として10種内外に分類されている。

●古代の文献にみる日本のキリ

文献上のわが国における初出は『万葉集』に見られる。聖武天皇の時代(8世紀前半)に成立したとされる巻第5、雑歌の部に、『大伴淡等謹しみて状す。帥大伴卿梧桐の日本琴を中衛大將藤原卿に贈り給へる』とある。

桐でつくった和琴とともに贈られた書状には、「梧桐の日本琴一面、対馬の結石山の孫枝なり、此琴夢に娘女に化りて曰



ニホンギリの着花状況(千葉県松戸市)

く「云々」と、淡等(旅人)が夢で見た琴の精である乙女との会話から始まり、以下の歌二首が添えられた。

「いかにあらむ 日の時にかも 声知らむ 人の膝の上 我が枕かむ」(いつの日、どんな時になったら、私のこの音色を聞き分けてくださる立派な方の膝の上に、私は枕することができるのでしょうか)

「言問はぬ 木にはありとも うるはしき 君が手馴れの 琴にしあるべし」(言葉を言わない木であっても、立派なお方が大切にしてくださいる琴となるに違いないでしょう)

また平安初期、深根輔仁(醍醐天皇の侍医)撰という『本草和名』(現存する最古の和漢薬名辞典)巻第14、木の項に「和名岐利乃岐」とある。

その点、古くから文字のあった中国の紀元前3世紀頃に成立した百科事典『爾雅』(中国最古の辞書)には、槻梧・栄桐木とあり、キリを示すという。さらに種類や栽培法についても、後魏の時代の『齊民要術』(532〜549年頃成立)、宋の時代の『桐譜』(1049年)などに詳しい記述が見られる。

●植物学上のキリ

一般の植物について、その分類が現在の形態を整え、学名で世界的に統一されたのは、1867年、パリで開催された第1

回国際植物会議における万国植物命名規約によるとされている。その分類の基本となつたのは、スウェーデンの植物学者リンネ(Carl von Linné, L. と略記される)による『植物の種(Species Plantarum)』(1753年)の分類表であった。

一方、わが国で植物分類の先鞭をつけたのは、1708(宝永6)年に『大和本草』を著した貝原益軒であるともいわれる。その中に「白桐」について「荏桐は油桐なり、海桐はハリありハウダラと云、梓も楸も皆桐の類也。又大キリと云ものあり、其木理(木目のこと)朴ノ木の如し。これ白楊なり、是も器に作るべし、楨桐はヒギリ也、花紅なり、ケラノ木あり、実紅なり、是皆一類也」とある。これらの現代名では、油桐、栓(ハリギリの別名)、梓、白楊、楨桐、イイギリとなり、科も異なるが、共通する点は材の木目、色沢が一見類似していることである。

わが国のキリを初めて欧州

に紹介したのは、1690(元禄3)年に来日したドイツ人医師ケンペル(Engelbert Kaempfer)であり、帰国後に



ケンペルが紹介したキリの図版

●分根法による増殖

茎立ち



芽生え確認後、翌週には茎立ちしていた



だいぶ茎立ちしている。芽は数本出てくるので、1本の勢いのよい芽だけを残して育成

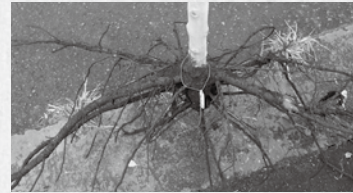
害虫



ウスオビヤガ等の害虫によって食害された葉

葉の食害幼虫

根の状態



掘り取った苗の根。6か月半でこれだけ根が張る

極めて早い成長



夏期は極めて生長が早く、7日で20cm以上伸長するものもある

前年度採種した分根



前年度採取した分根。概ね親指程度の太さで、10~15cm程度を目安に根を採取し、切り口にトップジンを塗布して病害を予防する

埋土前の分根



掘り出し、埋土前の分根

芽生え



芽生え、種子由来のものより初期の芽生えが明らかに大きい

掘り取り・植え替えのサインは落葉

●実生苗の育成

鉢おろし(植え替え)



苗が生長し、ポットから根が出てきたので、一回り大きいポットに植え替える



植え替えると、生長速度が増す



概ね9月上旬で生長が止まる



成木と同じく、気温の低下に伴い落葉が進み、全葉が落葉した状態で冬を迎える

播種



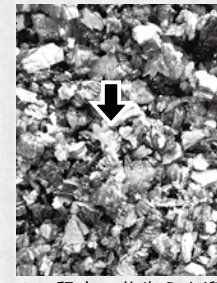
実生苗育成のための播種作業。幼苗期が最も病害にかかりやすい。そこで無菌状態を目指すために、培土はパーミキュライトにし、1ポットに対し種を3~5粒程度表面に載せ、給水は底面灌水させて育成した

発根



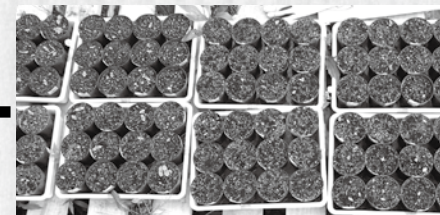
はじめに根が出る

発芽



2mm程度の芽生えを迎えた

本葉



本葉が展葉するものも出てくる

福島県三島町でのキリ育苗

会津桐の産地の一つである福島県三島町では、2017年4月からキリの実生苗および分根法による育苗を始めた。ここでは写真でその経過を紹介したい。